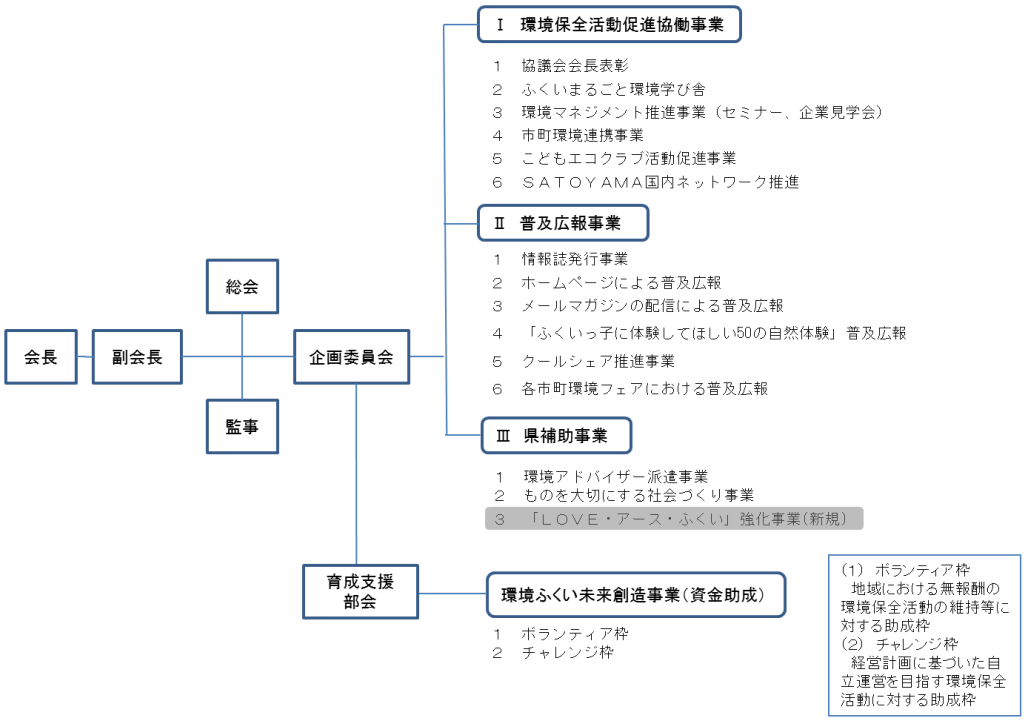
平成30年度 事業計画

環境ふくい推進協議会事業体系図



Ⅰ 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

［内容］ 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた団体等について表彰を行う。

［開催時期］ 総会時

2 ふくいまるごと環境学び舎

［内容］ 企業、団体、個人等との協働による講演、セミナーや体験活動を開催する。

［開催時期］ 通年

3 環境マネジメント推進事業

［内容］ 主に事業所の環境管理者等を対象に、先進事例の見学会や基調講演および実践事例発表を実施する。

［開催時期］ １０月～２月

４ 市町環境連携事業

［内容］　市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

助成要件

〇環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業

〇事業費が５万円超

〇各市町１件の枠

助成額

〇福井市：１０万円、その他の市町：５万円／件

５ こどもエコクラブ活動促進事業

［内容］　こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

助成額　　壁新聞作成および活動に係る経費の支援　１万円／クラブ　１０クラブ

６ SATOYAMA 国内ネットワーク推進

［内容］　本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

Ⅱ 普及広報事業

１ 情報誌発行事業

［内容］　環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

発行回数　１回

発行部数　3,000　部

配 布 先　協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館　等

２ ホームページによる普及広報

［内容］　ホームページや facebook を活用し、お知らせやイベント情報を積極的に発信していく。

３ メールマガジンの配信による普及広報

［内容］　メールマガジンにより、幅広く環境保全活動情報の提供を行う。

４ 「ふくいっ子に体験して欲しい５０の自然体験」普及広報

［内容］　「ふくいっ子に体験してほしい５０の自然体験」ガイドブックの普及を図るとともに、森、川、里、海など様々なフィールドで自然体験が行われるよう、福井の環境を知るための「福井の環境マップ」を作成する。

(1) ガイドブックの増刷

発行部数　9,000 部

配 布 先　小学校、市町環境フェア　等

(2)「福井の環境マップ」の作成　**【新規】**

掲載内容（例）

・「自然体験ができる環境保全団体・施設」

・「ふくいの貴重な動植物等いきもの解説」

・清らかな湧水である「おいしい水の認定地」

５ クールシェア推進事業

［内容］　クールシェアを周知し、県民に節電に関する意識を高めてもらい、地球温暖化対策となる行動（家庭におけるエアコンの消費電力を抑制）への自発的な取組みへつなげるため、昨年に引き続きクールシェアスタンプラリーを実施する。

６ 各市町環境フェアにおける普及広報

［内容］　県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供する。また、環境ふくい推進協議会の周知を図る。

・出展予定の各市町環境フェア

福井市、鯖江市、越前市、敦賀市

Ⅲ 県補助事業

１ 環境アドバイザー派遣事業

［内容］　事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。

２ ものを大切にする社会づくり事業

［内容］　壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

(1) 古本市、おもちゃの病院、おもちゃドクター養成講座などの開催・支援

(2) 自主的なリユース行事を開催する団体の支援

３　「ＬＯＶＥ・アース・ふくい」強化事業【新規】

［内容］　地球温暖化ストップ県民運動「ＬＯＶＥ・アース・ふくい」をさらに推進し、節電などを実践する地球温暖化防止活動の輪を広げる。

(1)統一行動日を設定し、地球温暖化防止活動を推進

家庭の日(毎月第３日曜日)を省エネ行動を推進する統一行動日に設定し、県下一斉にエコな取り組みを実施する。

(2)ウォームシェア事業の実施

冬期間、温かく過ごせる場所等を登録・周知し、過度に電気にたよらない取組みを推進　等

Ⅳ　環境ふくい未来創造事業

［内容］　県民･事業者から提供された資金により、『自然と共生する社会づくりの推進』『地球温暖化対策の推進』『循環型社会の推進』『生活環境の保全』『環境について自ら考え行動する人づくり』に関連した実践団体へ助成する。

ボランティア枠とチャレンジ枠を設け、チャレンジ枠の助成団体については進捗管理をしながら適宜アドバイスを実施する。

・ボランティア枠
（地域における無報酬の環境保全活動の維持等に対する助成）
・チャレンジ枠
（経営計画に基づいた自立運営を目指す環境保全活動に対する助成）

Ⅴ 会議等

下記のとおり会議を開催する。

１　総会

内　　容　：平成 29 年度事業報告および収支決算報告について
平成 30 年度事業計画（案）および収支予算（案）について
（総会後、環境活動団体活動報告）

２　企画委員会（4 回程度開催予定）

３　育成支援部会（3 回程度開催予定）